

『伊那青年』とその時代 目次

『伊那青年』復刻にあたって

吉澤 健 7

伊那の青年たちの横顔〜小林洋吉を中心に

嶋 不濁 10

若き日の北原痴山と『伊那名勝志』

鎌倉貞男 30

青年たちの図書館「飯田文庫」

瀧本明子 50

釣月の『激論の火鉢を押して進みけり』を読む

竹村雄次 59

『伊那青年』に見る俳句短歌革新運動

竹村雄次 71

発掘、千野鳩林（方功）

鎌倉貞男 76

『伊那青年』と千代村

清水迪夫 82

寄稿者・清水福市小伝

岡田正彦

106

松尾村と『伊那青年』〈塩澤理一を中心として

元島知寿

122

若き日の近藤政寛

山内尚巳

134

風越山の仏法僧〈近藤政寛の耳

原田 望

148

『伊那青年』に書き込まれた「海行かば」

瀬川 大

151

祖父の日露戦争参戦について

吉澤 健

159

《参考資料》

明治三〇年代前半における農村青年会の歴史的位

瀬川 大

164

(『信濃』62巻11号より転載)

《附録》

索引 『伊那青年』会員一覧(筆名／出身及び居住地、他)

『伊那青年』発行年月と頁数

*頁数は表紙・裏表紙を含む数字

号 数	発行年月	頁数	号 数	発行年月	頁数
創刊号	明治 33 年 2 月	80 頁	19 号	8 月	40 号
2 号	3 月	54 頁	20 号	明治 34 年 9 月	46 頁
3 号	4 月	68 頁	21 号	10 月	42 頁
4 号	5 月	62 頁	22 号	11 月	44 頁
5 号	6 月	66 頁	23 号	12 月	44 頁
6 号	7 月	60 頁	24 号	明治 35 年 1 月	42 頁
7 号	8 月	46 頁	25 号	2 月	54 頁
8 号	9 月	46 頁	26 号	3 月	50 頁
9 号	10 月	48 頁	27 号	4 月	48 頁
10 号	11 月	56 頁	28 号	5 月	40 頁
11 号	12 月	56 頁	29 号	6 月	48 頁
号外	明治 34 年 1 月	36 頁	30 号	7 月	52 頁
12 号	1 月	46 頁	31 号	8 月	50 頁
13 号	2 月	58 頁	32 号	9 月	52 頁
14 号	3 月	52 頁	33 号	10 月	44 頁
15 号	4 月	44 頁	34 号	11 月	30 頁
16 号	5 月	40 頁	35 号	12 月	34 頁
17 号	6 月	44 頁	36 号	明治 36 年 1 月	26 頁
18 号	7 月	48 頁	37 号	2 月	36 頁

復刻版製作 公益社団法人 南信州地域資料センター

販 売 南信州新聞社出版局

0265-22-3734 FAX0265-23-7072

平成 30 年 9 月末日まで完成予定、完成次第、連絡の上、送付します。
お申し込みは次頁の用紙に記入の上、上記までファクシミリをお送り
ください。お問い合わせ等は E-mail でお願いいたします。

book@minamishinshu.co.jp

復刻決定

限定 200 部 予約受付開始!

第 1 号(明治 33 年 2 月 20 日)～第 37 号(明治 36 年 2 月 20 日)
及び号外 1 冊(明治 34 年 1 月 1 日) 計 38 冊分売不可
付録資料: 会員・筆名一覧 1 セット 4 万円(税別)

復刻版見本



『伊那青年』という雑誌は、新しい時代になって生を受けた長野県南部・下伊那郡の目覚めた青年たちが、日清戦争を経て、より世界へ目を開き、日露戦争へ向かう時代に、国体の意識を強くし、そして何よりも己は何者かと己に問う、自我と世界の飛躍的な拡大の中で如何に生きたかを如実に物語る生きた資料である。『伊那青年』の青年たちの姿を追うことは、一地方ではあるが、近代に生を受けた日本の青年たちの姿を解析する上で貴重なサンプルになるのではないか… 本誌「編集後記」より抜粋